

世界の頭脳27氏

京都の素粒子国際会議 出席者、日程決まる

ノーベル賞を受賞した湯川秀樹、京大教授の中岡子理論が発表されて三十周年になるのを記念して、日本学術会議の主催で九月二十四日から末まで、中岡子理論三十周年記念素粒子国際会議が京都で開催される。その要綱が京大で開かれるが、その要綱

や出席する学者の顔ぶれが決まってきた。会議には湯川秀樹(米)・J・E・タム(ソ連)・湯川秀樹教授(三)のノーベル賞受賞者をはじめ、日本を含めた世界の十一ヶ所の理論物理学界の一流級学者二十七人が出席し、素粒子理論の今後の方向を討議する。

ベンハートゲン理論物理学研究所長(京大)R・E・マルシャクと坂田昌一(名)大教授の講演会と祝賀会(ソ連)▽素粒子国際会議(京大)館(二十四、五日)「テーマ」核力(素粒子の概観)二十六日(休)「テーマ」統一理論(統一理論の概観)超導理論(二十九日)「議題」素粒子シンポジウム(京大)【出席者】H・J・バーバ(イン)D・J・フロンツェ(ソ)D・J・ホーン(英)F・ボ(ソ)M・L・ゴールドバー(米)H・S・クリン(オ)「ストラリア」N・イワネコ(ソ)N・ケムマー(英)小林(大)

c073-001-020